

令和8年度 阿見町立阿見中学校グランドデザイン

【本県の教育目標】
ひとりひとりの能力を開発し
豊かな人間性をつちかう
じょうぶな身体をつくり
たくましい心を養う
郷土を愛し 協力しあう心を育てる

本校の教育目標
**心豊かでやる気に満ちた
実力のある生徒を育てる**

【阿見町の教育方針基本理念】
「学びあい 支えあい
心を育む人づくり」
【阿見町の学校教育目標】
「生きる力を育む
教育の推進」



校訓【勤勉 至誠 剛健】



- 目指す生徒像
- 1 自ら学び、自ら考える、意欲のある生徒
 - 2 心豊かで気品のある生徒
 - 3 礼儀正しく、親切で思いやりのある生徒
 - 4 郷土を愛し、自分に誇りをもつ生徒
 - 5 心身共に健康でたくましい生徒



【令和8年度スローガン】



SHINKAから飛躍への第1歩
～挑戦し続ける 阿見中プライド～

経営の基盤となる学校観

- 学校は、生徒、教職員の誰もが幸せだと実感できる「温かい学校」でなければならない。
- 中学校は、生徒一人一人が「なりたい自分」に向かって、さらなる高みを目指すところである。

経営の基盤となる教師観

- 一人一人の良さを見い出し、伸ばすことが教師の使命である。
 - 教師は、生徒一人一人の成長を喜びとして感じることができる。
- 飛躍の為の【3つの気】の充実(キーワード)
「やる気」「本気」「根気」
まずは、やってみる 全力で 最後まで

- 組織目標
- 課題解決的な学習を通して、自ら考え、判断し、表現する力を高める。
 - 生徒主体の活動を活性化させ、自己有用感、自己肯定感を高める。
- 本年度の重点
- 「あったかタイム」を基盤とした、探究的な学びの展開
 - 生徒に任せる場面の創出による、自発的、自治的な活動の充実
 - 好ましい人間関係の醸成と豊かな心の育成
- 阿見中スタンダードを極める！

勤勉 (知育) 自らの夢や目的の実現に向けて、主体的に学ぶ態度や能力を育成する。	至誠 (徳育) 自他を尊重し、全体のために力を発揮しようとする心情や態度を育成する。	剛健 (体育) 生涯にわたって活力のある生活を営むための体力や自己管理能力を育成する。
--	--	---

具体的施策

<ol style="list-style-type: none"> 1 阿見町の授業スタンダードの定着 ・「課題提示の工夫」「アウトプット」 ・「振り返り」の質的改善 ・「あったかタイム」「適用練習時間の確保 2 1人1台端末 (ICT) の効果的な活用等による探究的な学び、主体的・協働的な学びの充実 3 単元内自由進捗学習へのチャレンジ (学期1回) <p>【数値目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 授業がわかりやすいと感じている生徒 92%以上 (91.0) 2 授業には自分の意見や考えをもって取り組んでいる生徒 90%以上 (87.5) 3 授業の振り返りを自分の言葉で記録している生徒 85%以上 (83.9) 	<ol style="list-style-type: none"> 1 生徒主体の自治的な活動を展開する。 ・生徒会や各種実行委員会、学年中央委員会における活動の充実 ・生徒運営主体の学校行事の推進 2 学校スローガンや生徒会スローガンを柱とした活動の充実 ・「誰もがが幸せを実感できる学校づくり」「SHINKAから飛躍への第一歩」 3 一人一人を大切に学級経営・学年経営の充実 (絆と居場所づくり) <p>【数値目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生徒会や係の活動等に積極的に取り組んでいる生徒 92%以上 (91.7) 2 阿見中の一員としての誇りをもって生活している生徒 90%以上 (89.7) 3 Hyper Q-U調査学校生活満足度の割合 60%以上 	<ol style="list-style-type: none"> 1 生徒の思いを活かした、魅力ある体育的行事、部活動の充実に努める。 2 養護教諭やSC、SSW、不登校対策指導員等を有効に活用した相談体制の充実に努める。 3 健康・安全に関する教育の推進と実践 ・交通安全教室、薬物乱用防止教室、がん教育、性 (いのち)に関する講演会の実施 ・SNSによるトラブル防止のための指導や生命の教育等を通して、自他の命を大切に心の教育の充実 <p>【数値目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学校や学年の行事にすすんで参加している生徒 95%以上 (94.0) 2 悩みを相談できる教師がいる生徒 90%以上 (87.8) 3 体力テスト(A+B)-(D+E) 50%以上 (60.77 - 12.86 = 47.91)
--	--	---

※ () 内は昨年度末の数値

☆働き方改革のさらなる進化 (時間外在校時間: 月45時間以内 年間360時間以内の達成をめざす)
☆地域とともにある学校づくりの推進 (コミュニティ・スクールの確立へ向けて組織の編成等の実施)